

## 5 キャッシュ・フロー計算書について

本市水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	令和5年度	令和4年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	270,561	386,112	△ 115,551
減価償却費	1,598,268	1,583,528	14,740
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,577	△ 4,406	14,983
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,187	△ 3,611	5,798
貸倒引当金の増減額(△は減少)	527	248	279
その他引当金の増減額(△は減少)	△ 75,836	△ 81,942	6,106
長期前受金戻入額	△ 296,937	△ 288,040	△ 8,897
受取利息及び配当金	△ 566	△ 727	161
支払利息及び企業債取扱諸費	71,276	75,498	△ 4,222
固定資産除却損	56,677	35,175	21,502
固定資産売却損益(△は益)	△ 3	△ 1,329	1,326
過年度損益修正損	437	—	437
過年度損益修正益	△ 9	—	△ 9
未収金の増減額(△は増加)	△ 21,904	74,611	△ 96,515
その他	—	1,130	△ 1,130
貯蔵品の増減額(△は増加)	2,304	△ 4,618	6,922
未払金の増減額(△は減少)	△ 118,241	206,634	△ 324,875
預り金の増減額(△は減少)	△ 6,345	△ 303,337	296,992
小 計	1,492,973	1,674,926	△ 181,953
利息及び配当金の受取額	580	741	△ 161
利息の支払額	△ 71,276	△ 75,498	4,222
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,422,277	1,600,169	△ 177,892
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,485,359	△ 1,637,812	152,453
有形固定資産の売却による収入	7,388	2,455	4,933
工事負担金等による収入	248,876	346,101	△ 97,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,229,095	△ 1,289,256	60,161
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	700,000	750,000	△ 50,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,055,654	△ 1,002,372	△ 53,282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 355,654	△ 252,372	△ 103,282
資金増加額 (又は減少額)	△ 162,472	58,541	△ 221,013
資金期首残高	5,367,920	5,309,379	58,541
資金期末残高	5,205,448	5,367,920	△ 162,472

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュ・フロー（CF）で表される。

業務活動によるキャッシュ・フローがプラス、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスであり、本来の業務活動による資金で投資や借入金の返済が行えている状態である。

資金期末残高は、前年度に比べて1億6,247万2千円減少し、52億544万8千円となった。